

分類	主な意見	対応	
事業性の検討	BRTだから連節バスというわけではない。誤解を招く可能性がある。	導入機種の設定において、BRTの想定車両を連節バスからCNGノンステップバスに変更し、事業性の再試算を実施。	
	都市交通に関連するプロジェクトと比べて、相対的にどれぐらい費用がかかるか見せていただきたい。	参考事例として、「大小路シンボルロード整備事業」および「阪堺線（堺市内区間）存続に係る堺市の支援」の費用等を整理。	
	比較の前提条件をどこかに書いておく必要がある。	定性的な事項も含め、導入機種及び導入ルート別に東西交通軸の比較検討を実施。	
	定性的なことも含めて検討してほしい。		
	まちづくりに対する視点を持つておく必要がある。		
	観光、景観、商業も含めた交通のあり方を考える必要がある。		
	多面的にどのように考えるのかがわかるような資料にしておく必要がある。	とりあえずバスを通しながら自動車を都心から排除していく政策を進めつつ、LRTは段階的な計画とするのはありだと思ふ。	段階的な整備や社会実験等、合意形成のあり方については、今回の会議での議論を踏まえ検討を実施。
		賑わいや動きなどの見せ方については、実験的なことをやってみてはどうか。	
都心交通の方向性	都心交通体系に求められるものを整理する必要がある。	目標や基本方針、方針に基づく施策等を体系的に再整理。	
	都心交通の個々の取り組みが立体的に配置されていない。		
	個々の方策の羅列ではなく、政策としてどういう体系になっているのかを提示する必要がある。		
	多面的に東西交通システムのあるべき形を評価した上で数字を出し、自転車、歩行者、観光周遊などを重ねた図を描く必要がある。		
	賑わいとはどういうものなのか、どういう人の移動を支えるのかを考える必要がある。	移動の支援や賑わいの演出のイメージについて整理。	